

戦争の悲しみを忘れず、恒久平和を願う ～第71回東通村戦没者追悼式～



追悼のことばを述べる畑中村長



追悼のことばを述べる川端会長



献花を行う川端村議会議長

終戦から79年目を迎え、第71回東通村戦没者追悼式が9月6日、村体育館山手に建立されている戦没者慰霊碑前で厳かに行われました。追悼式は先の大戦で犠牲となった、二百余柱の戦死者の英霊を追悼するとともに、併せて、世界の恒久平和を願い行っているものです。

式典では、参列者全員で黙祷を捧げた後、畑中村長、川端一松村議会議長の追悼のことばに続き、川端孝悦村遺族会長が「何のために戦い、どのような思いで戦場に散ったのか、戦禍に倒れ還らぬ人となられた、二百余柱の御英霊の無念、苦しみを思う時、尽きることのない悲痛な思いが胸にこみ上げて参ります。再び悲惨な戦禍を繰り返すことなく、世界の平和、命の大切さをしっかりと後世に受け継いでいくため、たゆまぬ努力を続けますことを遺族一同ここにお誓い申し上げます」と追悼のことばを述べました。その後、参列者一人ひとりが二百余柱の英霊に白菊の献花を行い戦没者の冥福を祈り、平和を誓いました。

村特産品を全国へ！特産のPRイベントへ参加

8～9月に開催された以下のイベントにおいて、東通牛等の村特産品の特売等によりPRしました。



東京都高島屋新宿店「東通村展」(8月22～27日)

東通村から直送された東通牛精肉や生ウニ、地まきホタテ等、村外ではなかなか入手できない特産品が勢揃いしました。リピーターの方も増え、回を重ねるごとに認知度が上がっている様子でした。産地直送だからこその品質と、うれしい価格に連日大賑わいの「東通村展」でした。



青森市モヤヒルズ「A F B (エフエム青森) ファンミーティング 2024」(9月7～8日)

牛串、フランク串、ビフテキジャーキーやサラミなどの東通牛を提供しました。「ラジオを聴いて食べたいと思い来ました！」という方も多くいらっしゃいました。



青森市マエダ虹ヶ丘店「東通牛の特売」(9月8日)

東通牛特売と村内特産品を販売しました。虹ヶ丘店での特売は初の試みであり、普段見慣れない東通牛を中心とした特産品を前に、多くのお客さまで賑わいました。



東京電力本社ビル「東通村フェア」(9月11日)

特産品の販売に加え、社内食堂で東通牛のハンバーグや尻屋産のとうろ昆布とふのりを使ったすまし汁等も特別メニューとして提供され、どちらも大好評でした。